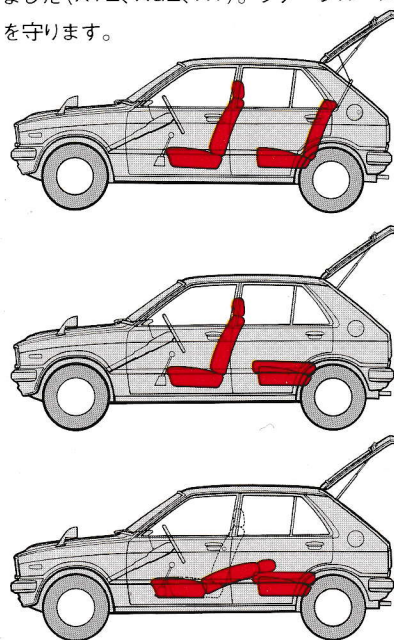




XTE

後席の背もたれを前に倒してください(XTE、XGE、XG)。そこは大きな、ラゲージルームに早がわり。バックが大きく開き、大きな荷物が楽に出し入れできます。リヤの左右のドアも活用できます。4ドア+ハッチならではの使いよさといえるでしょう。さらに、助手もたれをうしろへ倒せば、長い荷物もOK。もちろんをセットしても、背もたれうしろのラゲージルームは容積を確保しています。

●ハッチバックと連動するラゲージルームトレイもましました(XTE、XGE、XT)。ラゲージルームのプライを守ります。



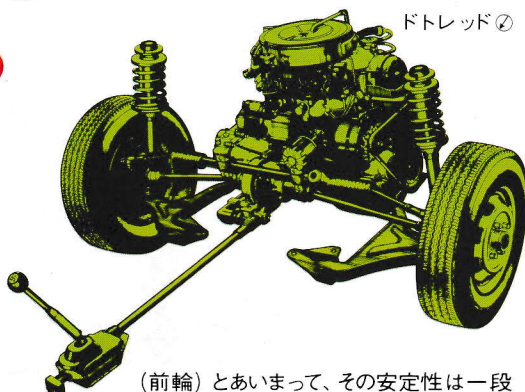
考えられる限りの安全性を追究。大きな安心を乗せて、キビキビ走ります。

■ 確かな安定走行の裏づけ。

FF (フロントエンジン・フロントドライブ) + 5リンクサスペンション。

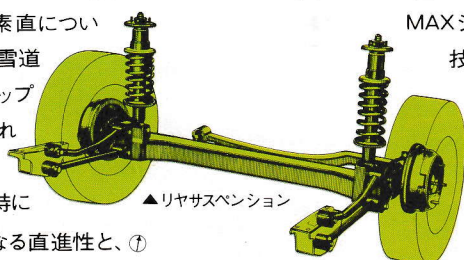
FFは、駆動力の方向とカジ取りの

横風安定性に優れていることは、もうご存じの通りです。さらに、シャレードの場合はリヤのサスペンションに、このクラスには稀な5リンク・コイル式を採用。いざという時のハードな走行にも確実にこたえてくれる足まわりを実現しています。また、2,300mmのロングホイールベース、1,300mmのワイドトレッド



(前輪)とあいまって、その安定性は一段と高いレベルに達しています。FFでは、

MAXシリーズで長く豊かな技術蓄積をもっているダイハツ。その技術と経験が、さらに磨きをかけられて、ここに生かされているわけです。

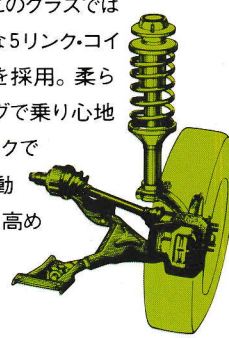


▲リヤサスペンション

方向が一致し、ハンドルを切った方向に車体が素直についていく方式です。雪道ぬかるみなどスリップしやすい道にも優れた走行安定性を見せてくれます。特に高速時に重要になる直進性と、①

■ 緻密な安全対策をお確かめください。

●フロントはストラット・コイル式サスペンション。リヤには、このクラスでは稀に見る、ぜいたくな5リンク・コイル式サスペンションを採用。柔らかいコイルスプリングで乗り心地をよくし、5本のリンクで上下・左右・前後の動きを制し、操縦性を高める高度なメカニズムです。FFの確かな走行を、さらに確かなものにたかめます。

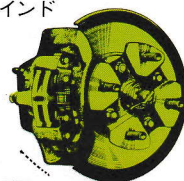


▲フロントサスペンション

●高速走行時の車体の浮き上りを防ぎ、空気抵抗を減らすウェッジシェイプ & カムテールのシャープなボディ形状。また、前後のオーバーハングは思い切ってカット。面積の広いパノラミックウインドとあいまって、死角は最小限です。



▲リヤブレーキ



●フロントブレーキは、軽い踏力で止まるブースタ付きディスクブレーキ。そのうえ、

効きを適正配分するPバルブ付きシリ振りなどを防ぎ安心です(XTE、XT)。リヤには、オートアジャスターリーディング・トレーリングを採用。

●コーナリングなどでの接地性が、走行安定性は抜群。耐久性の点でもスチールラジアルタイヤを装着しました(XTE、XT)。

●ステアリングは小径で握りが太く、コーナーを曲りながらも、す早くブッシュできるバータイプのクラクションを採用しています。

■サビの防止にも細心の注意を払った。フロントフェンダーの裏(タイヤ側)を樹脂製のフェンダーライナーで覆っています。ここは前輪がいろいろな泥をはねあげ、それが付着し、腐食しやすいところ。それを防止するために、余分にカバーしているのです。加えて、ペイントは塗り厚3コート塗装。耐点で格段の進歩をみました。

■パーカビリティのよさは、運転のしやすさ。オーバーハングの短いコンパクトボディで、最小回転半径4.6mの機動性。広いスペースでもスイッと駐車できま